

# 第11回総合教育会議

議 題

子どもたちの想いに寄り添う支援  
(不登校に対する支援、特別支援教育)



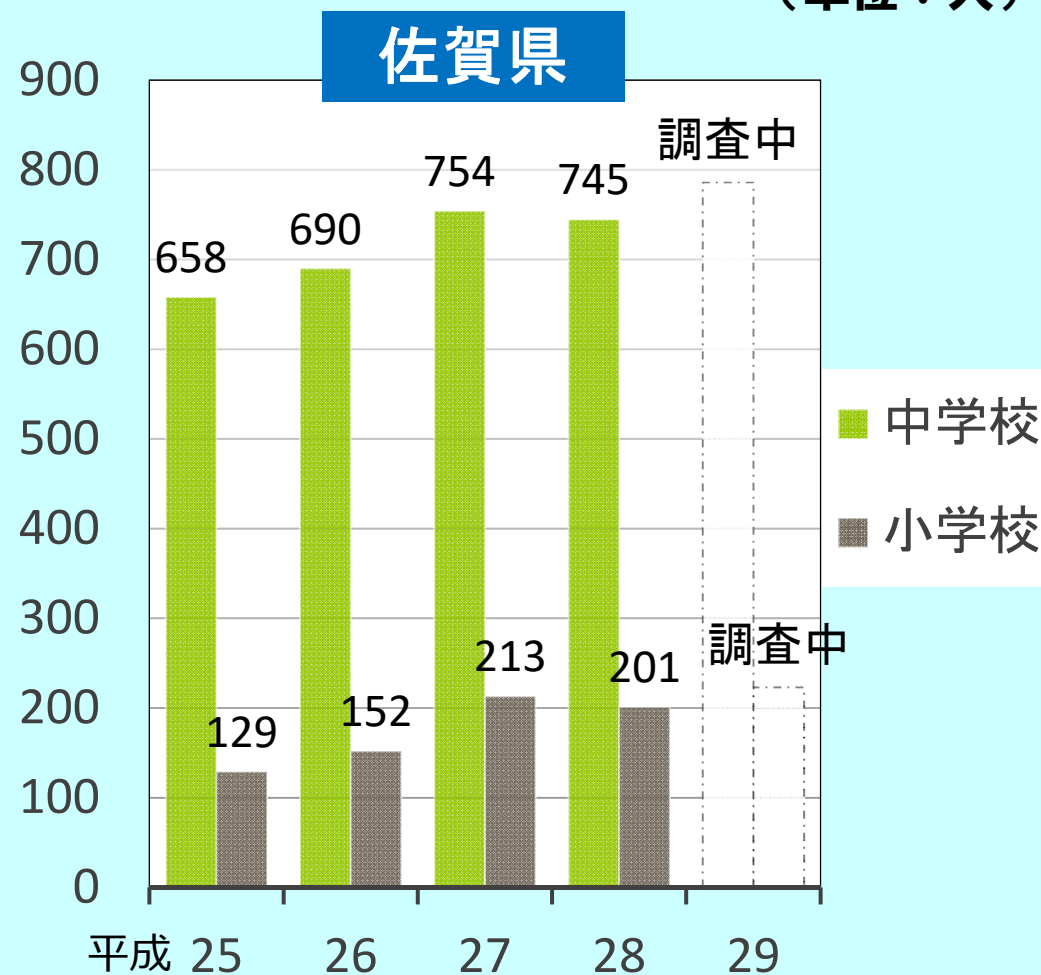
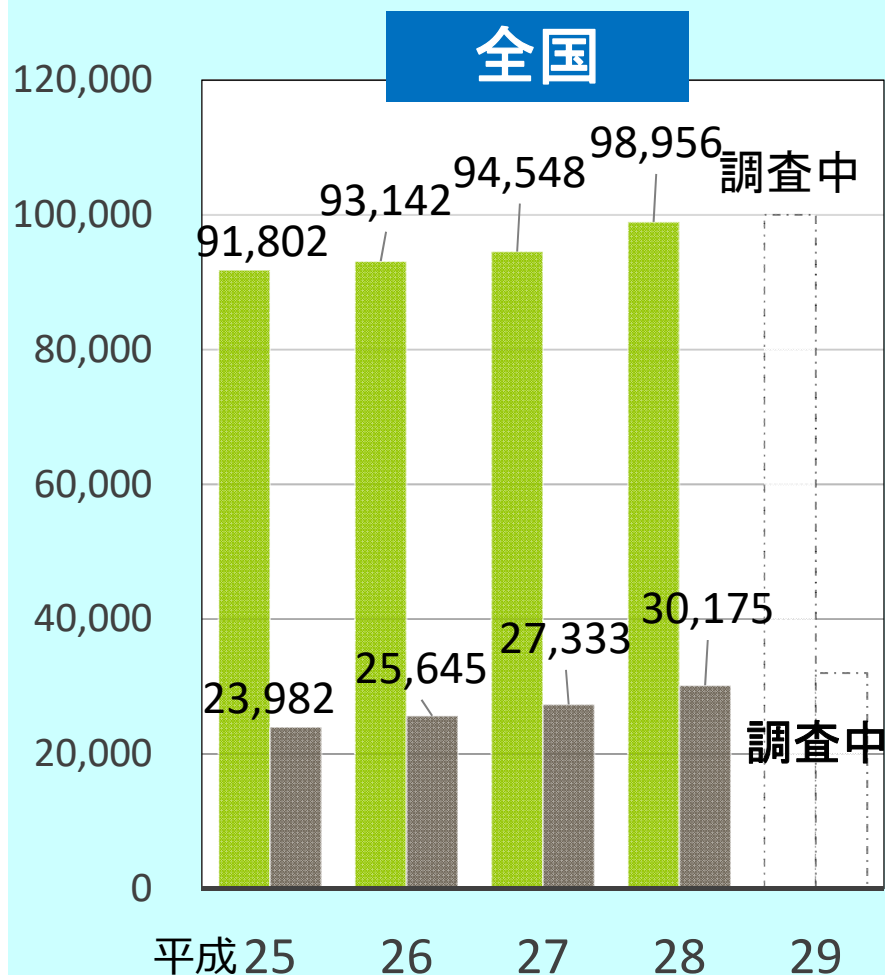
さがデザイン  
さがをかえる しごとをかえる

# (1) 不登校に対する支援



# 平成28年度までの不登校児童生徒数の推移

(単位：人)

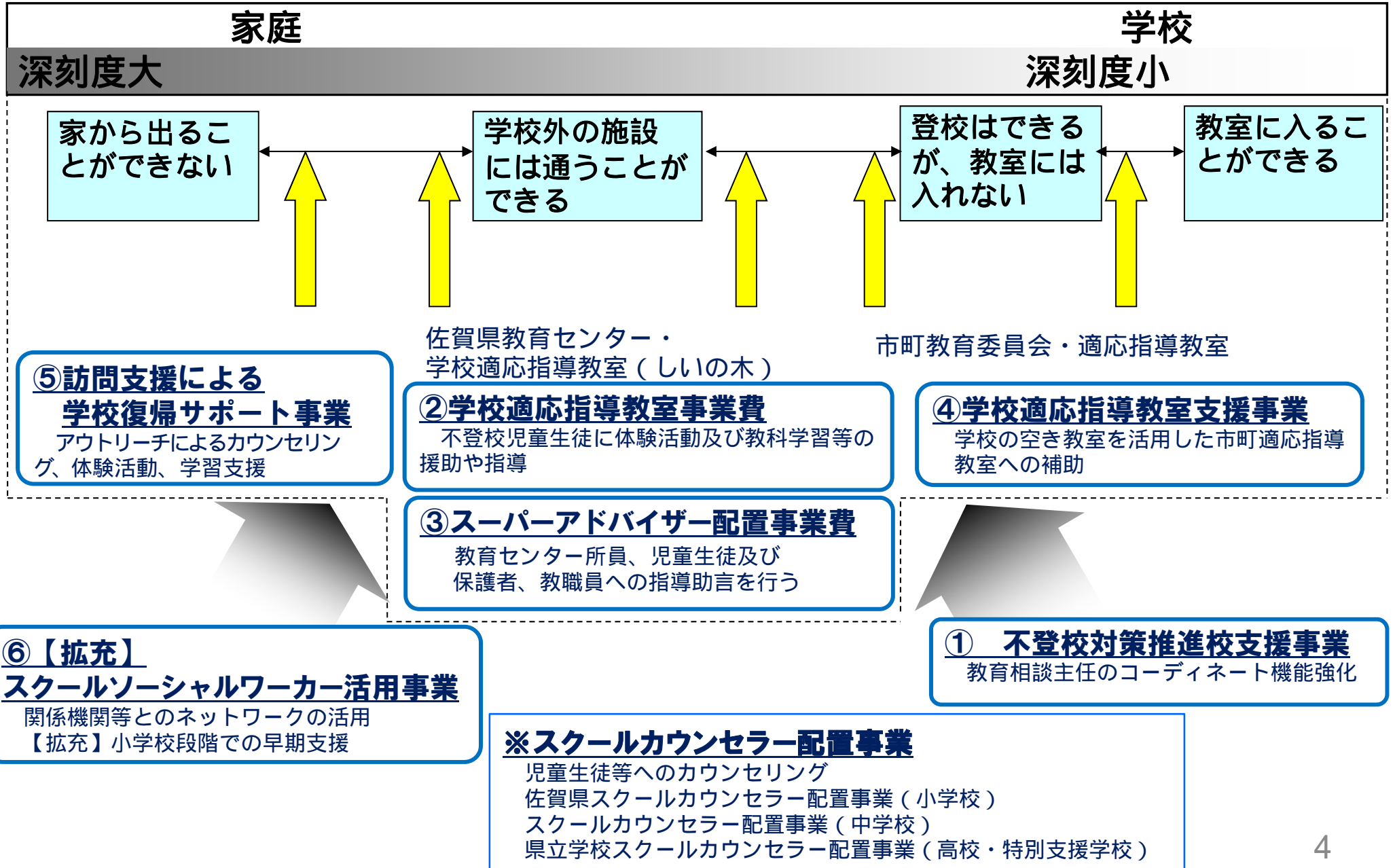


## 不登校の要因

「家庭」、「友人関係」、「学業不振」などが主な要因となっているが、複数の要因があると考えられる。

# 不登校対策 - 学校復帰へ向けた段階的支援 -

## 児童生徒の不登校の段階



# 訪問支援による学校復帰サポート事業

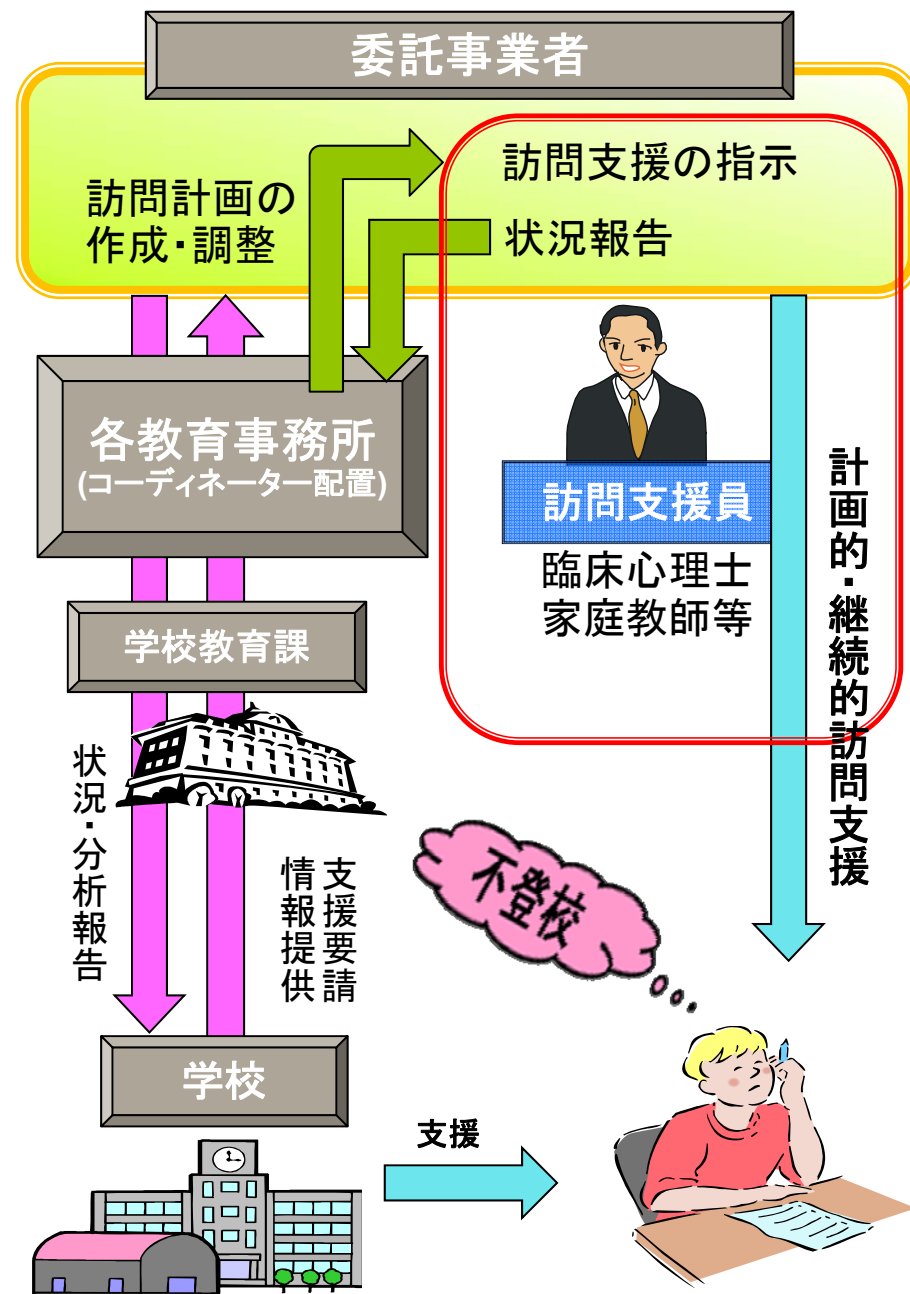
## 目的

長期化・深刻化している児童生徒には、家庭訪問の回数や時間等を充実させる必要がある。

そこで、訪問支援等の豊富な経験を有する訪問支援員との連携の下、当該児童生徒を学校復帰へと導く。

## 事業内容

- ・コーディネーターが、学校や教育委員会からの要請により、訪問計画を作成し、家庭へ訪問支援員を派遣する。
- ・訪問支援員は、不登校児童生徒等の自宅を計画的・継続的に訪問し、カウンセリングや学習支援等を行う。



# 訪問支援による学校復帰サポート事業の成果

## 平成28年度訪問支援開始から3か月以上経過した 児童生徒(93名)についての成果 (複数回答)

### 1 改善がみられたもの

#### (1)生活習慣等の改善が見られたもの 47名(50.5%)

- ・朝起きて、夜寝るようになった。 ・昼夜逆転や食生活の乱れ等が改善された。
- ・ごはんをきちんと食べるようになった。 ・着替えをするようになった。

#### (2)周囲との関係改善が見られたもの 58名(62.4%)

- ・父や母と顔を合わせるようになった。 ・兄弟と話をするようになった。
- ・部屋に閉じこもっていたものが、居間に出てくるようになった。

#### (3)家庭環境の改善が見られたもの 51名(54.8%)

- ・父や母、祖父母が登校刺激をするようになった。
- ・ネグレクト傾向の母がごはんを作るようになった。

### 2 本事業に対する学校からの声

- 支援員さんに訪問支援をしてもらうことで、適応指導教室に足が向いたり、登校できるようになった。
- 家庭の状況がわかるようになり、家庭と連絡が密にとれるようになった。

# 太良高校(H23年度改編)と巖木高校(H30年度改編)の取組

## ○取組内容

生徒の個性や可能性を最大限に引き出す学校として、全県募集枠(40人)を設け、全日制高校で学ぶ意欲と能力のある者を受検対象としている。

### 全県募集枠 40人

#### 全日制高校で学ぶ意欲と能力のある次の生徒

- ・ 不登校経験があり、やり直す意欲のある生徒
- ・ 発達障害があり、特性を伸ばそうとする生徒
- ・ 高校中途退学者で学び直す意欲のある者

選抜方法の工夫 (得意科目評価と面接重視)

#### 個にあった充実した授業や生徒指導の工夫

教育の充実 (単位制による多様な選択科目の設定 等)  
進路等に応じた対応 (進学を目指す科目等の開設 等)

- ・ 進路目標の実現
- ・ 就職
- ・ 進学 (4年制大学、短期大学、専門学校)

生徒・保護者・地域にとって魅力ある学校

## ○具体的特色

- ・ 個に応じた学習計画  
(多彩な科目設定、多様な単位認定 など)
- ・ きめ細かな学習指導  
(少人数学習指導、TTによる指導)
- ・ ICTを活用した教育の充実  
(電子黒板や学習用PCの活用)
- ・ 学校生活の支援  
(スクールカウンセラー重点配置、学習支援室の設置 など)
- ・ キャリア教育の充実  
(進路指導の充実、資格取得の奨励、 など)
- ・ 地域との連携  
(地域での体験学習、地域教育連携協議会の設置 など)
- ・ 通学の支援  
(ホームステイの相談、校時の工夫 など)

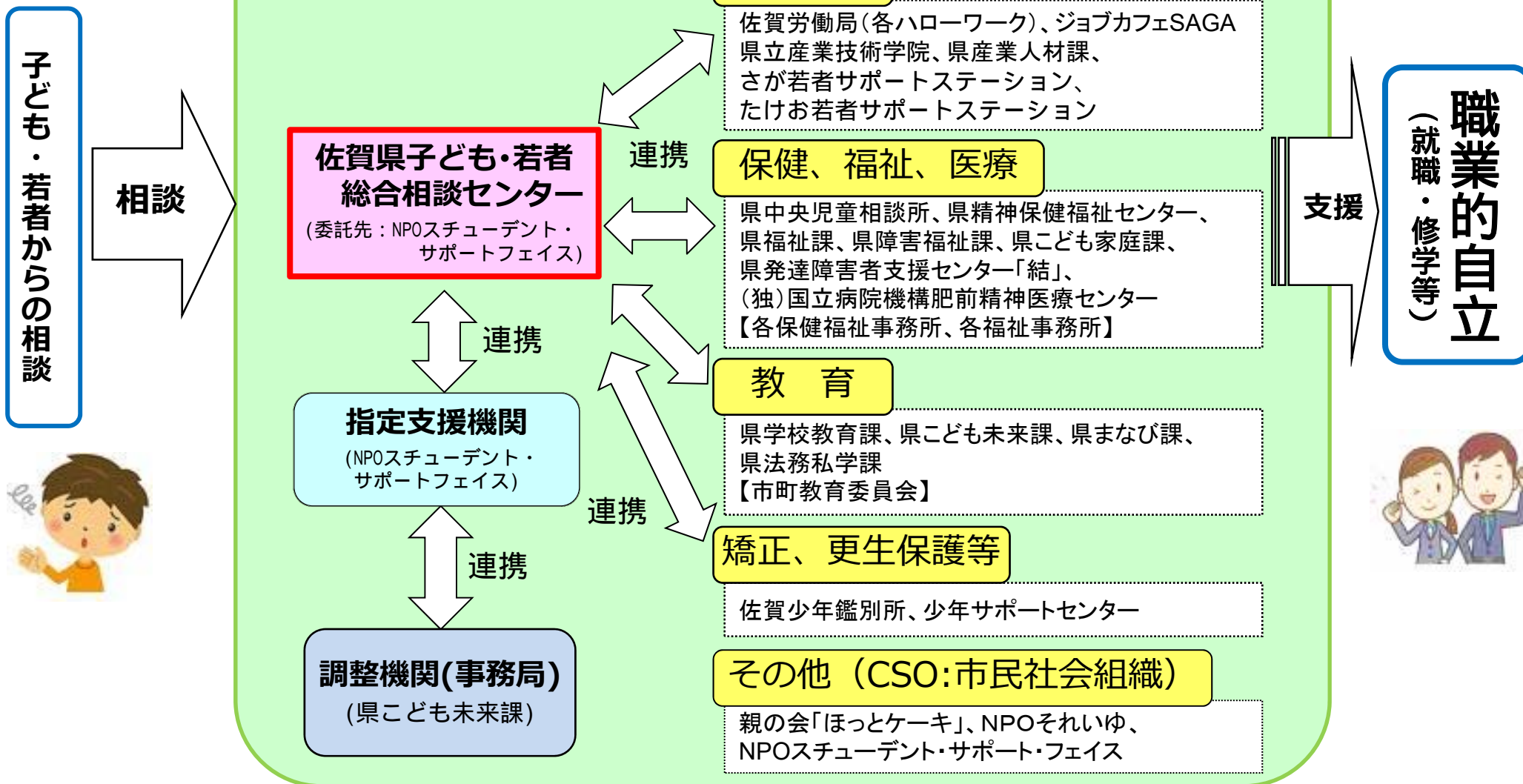
### 【太良高校での取組の成果】

- ・ 中学校で不登校であった生徒が、入学後1年間無欠席。
- ・ 不登校経験の生徒が転校し、太良町にホームステイしながら通学。卒業後、外国に留学。
- ・ 人前で話すことも難しかった生徒が、高校入学後に、体験入学に来た中学生にステージから堂々とそして生き生きと学校生活の楽しさを話している。

# 佐賀県における子ども・若者自立支援対策

不登校、ひきこもり等、様々な相談を受け、その方に応じた支援を関係機関と連携して実施

## 佐賀県子ども・若者支援地域協議会



H29成果：2,374人(うち新規505人)を関係機関と連携し支援を実施。  
その他、高校中退者等の進学支援等を実施した。



# 本日議論いただきたいこと

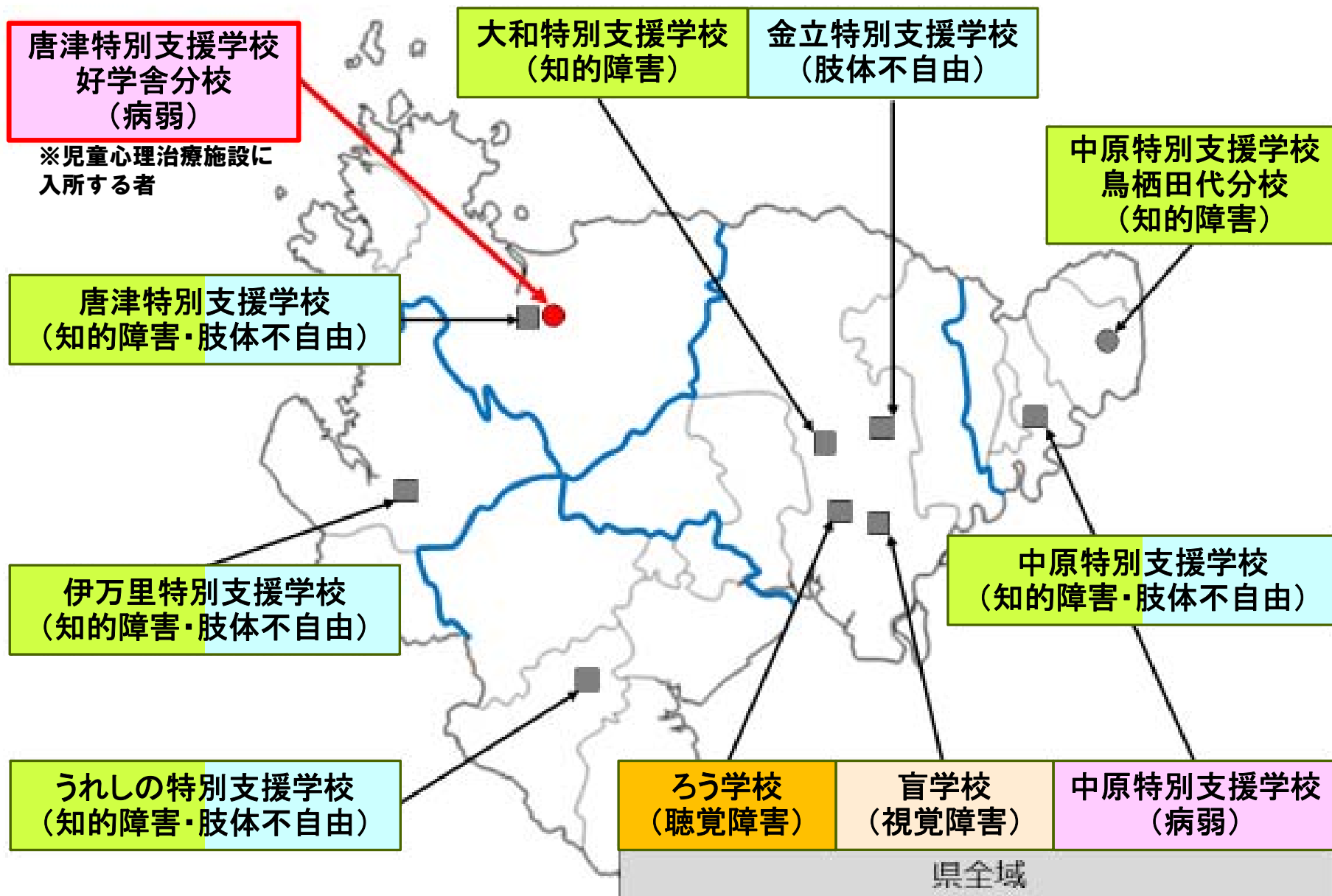
## 【不登校に対する支援】

- ◎ いかにして不登校の未然防止を図るか
- ◎ いかにして不登校の児童生徒を学校復帰へ導くか

## (2) 特別支援教育

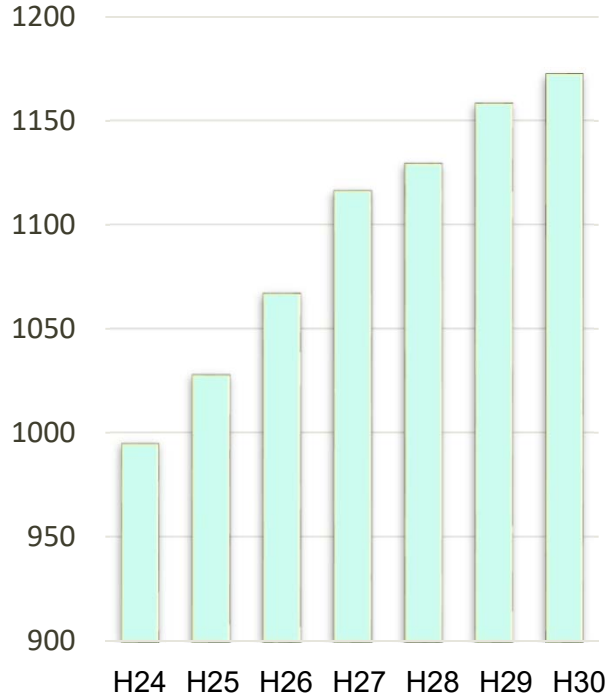


# 平成30年度 県立特別支援学校の配置



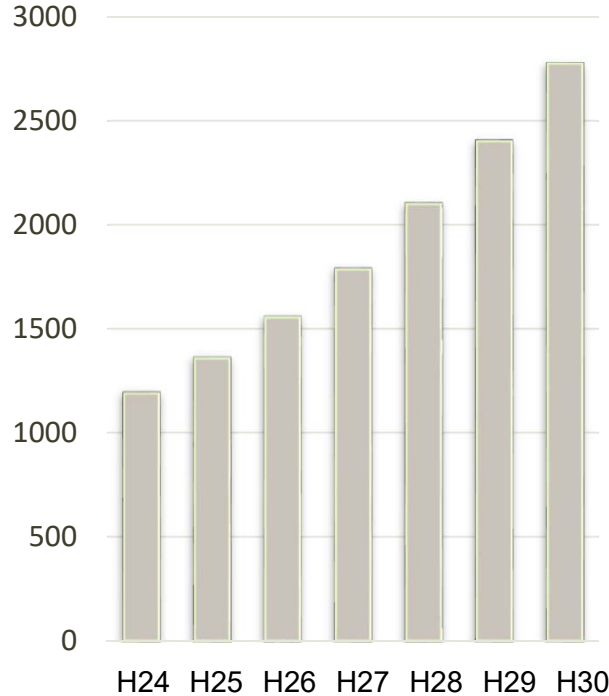
# 佐賀県の特別支援学校等で教育を受ける児童生徒数の推移

単位：人



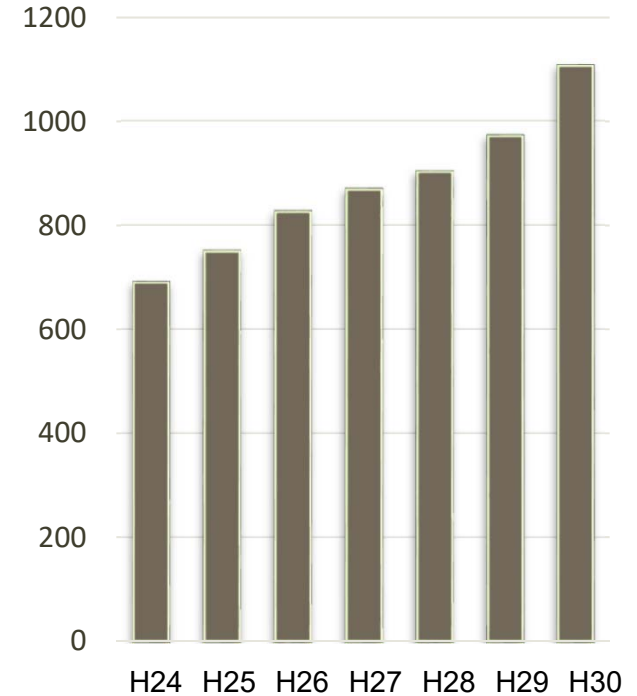
## 特別支援学校

障害の程度が比較的重い子供を対象として教育を行う学校



## 特別支援学級

小・中学校に障害の種別ごとに置かれている少人数の学級



## 通級による指導

小・中学校の通常の学級に在籍する障害のある児童に対して、週に数単位程度、障害に基づく種々の困難の改善等に必要な指導を行う教育形態

→ 年々、対象の児童生徒数が増えている。

## 要因

特別支援学校における教育に対する保護者の理解が深まってきた。

# 「佐賀県特別支援教育第三次推進プラン(改訂版)」の主な取組

## 1 特別支援学校における特別支援教育の充実

- (1) 教育環境の整備
  - ・ 児童生徒数の増加に対応した教育環境の整備
  - ・ 通学支援の在り方 ⇒ スクールバス運行
  - ・ 児童心理治療施設の入所児童生徒を対象とする教育施設の整備
- (2) 一人ひとりの自立と社会参加を目指した指導の充実
  - ・ ICT利活用教育の推進 など
- (3) 企業等と連携した職業教育の推進及び進路支援体制の整備
  - ・ 企業等との連携の充実
  - ・ 進路支援に係る校内体制の整備
  - ・ キャリア教育に係る取組の充実 など

## 2 幼稚園、小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

- (1) 特別支援学級・通級指導教室における取組
  - ・ 担当教員の専門的な指導力の向上 など
- (2) 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の支援の取組
  - ・ 校内支援体制の充実に向けた支援
  - ・ 各学校種間の連携
  - ・ 発達障害に係る保護者への理解啓発など
- (3) 特別支援学校のセンター的機能の充実
  - ・ 学校全体による地域支援の取組の推進  
⇒ 巡回相談員、専門家の派遣
  - ・ 教育事務所との連携による支援

## 3 インクルーシブ教育システムに対応した特別支援教育の充実

- (1) 就学相談・就学先決定に係る市町教育委員会への支援
  - ・ 合理的配慮及び基礎的環境整備等についての理解促進 など
- (2) 特別支援学校と小・中学校等との交流及び共同学習の推進
  - ・ 居住地校交流の推進

# 県立特別支援学校におけるスクールバス運行事業

## 目的

自力での通学が困難な県立特別支援学校の児童生徒の通学を支援するとともに、保護者等の送迎に係る負担軽減を図るため、スクールバスを運行する。

## 事業内容

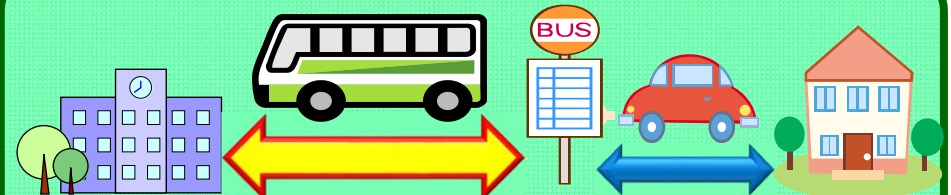
- スクールバスの運行  
平成29年6月から県立特別支援学校6校（金立、大和、中原本校、伊万里、唐津、うれしの）において、各1コース、計6コース運行

## 【現状】



- 特別支援学校の児童生徒数は年々増加
- その多くは自力通学が困難で、送迎は保護者等にとって大きな負担

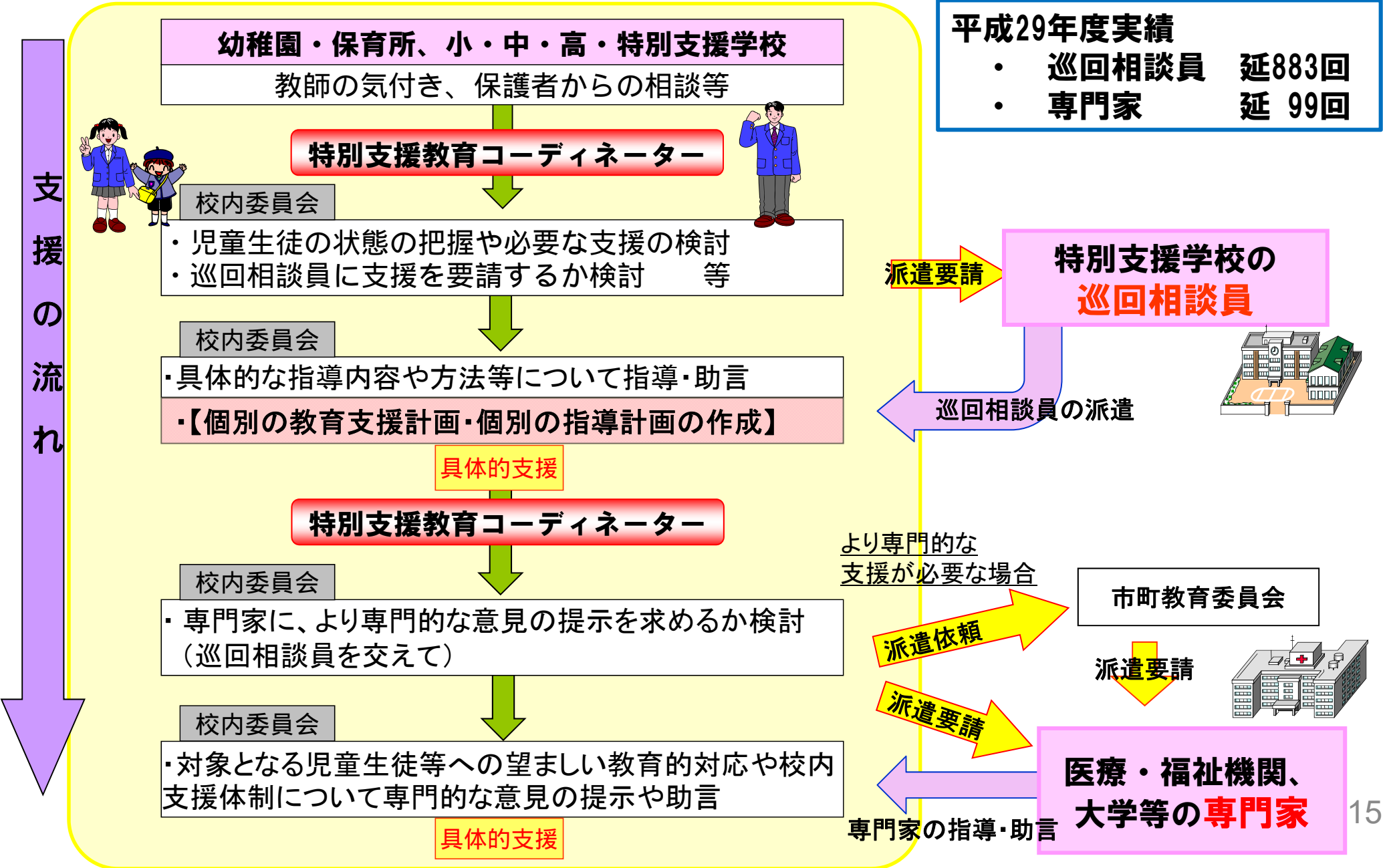
## スクールバスの導入



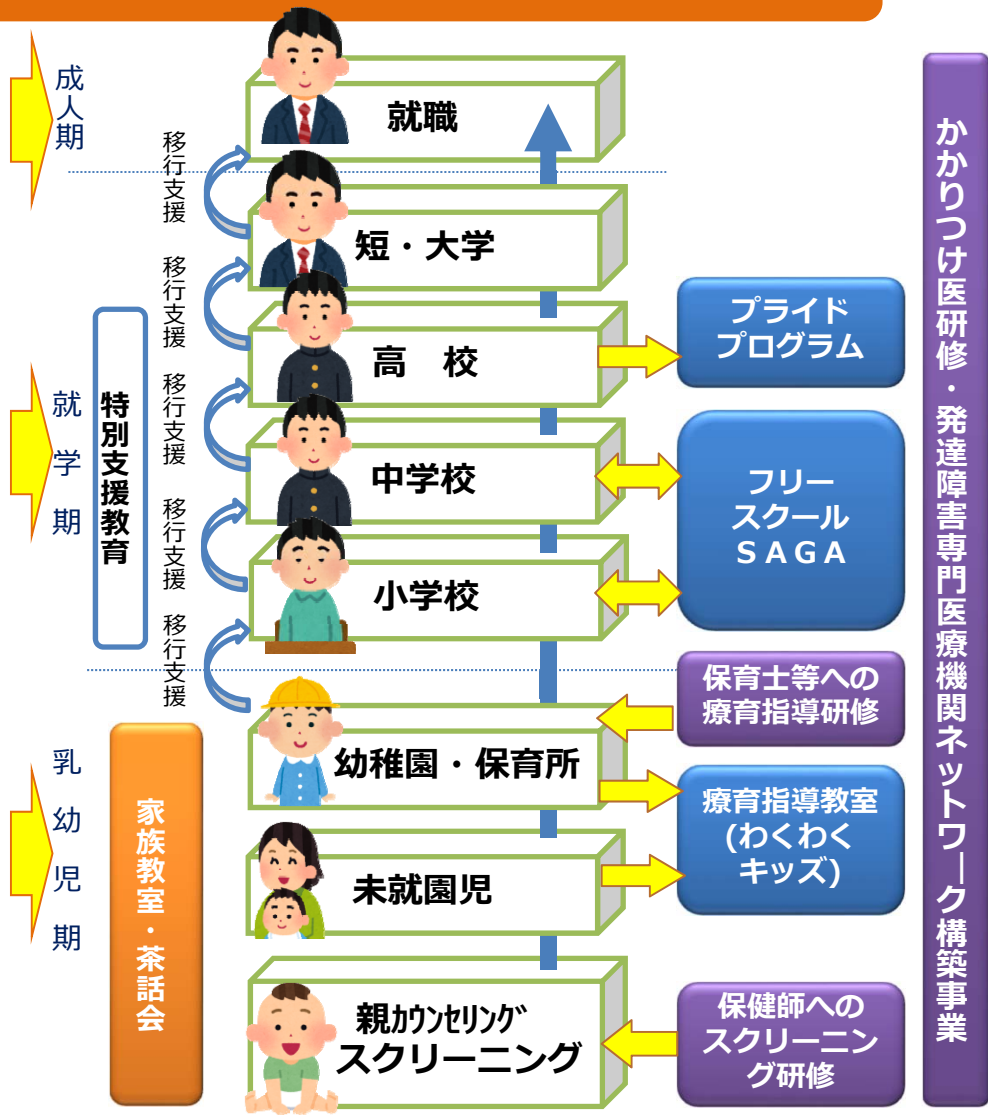
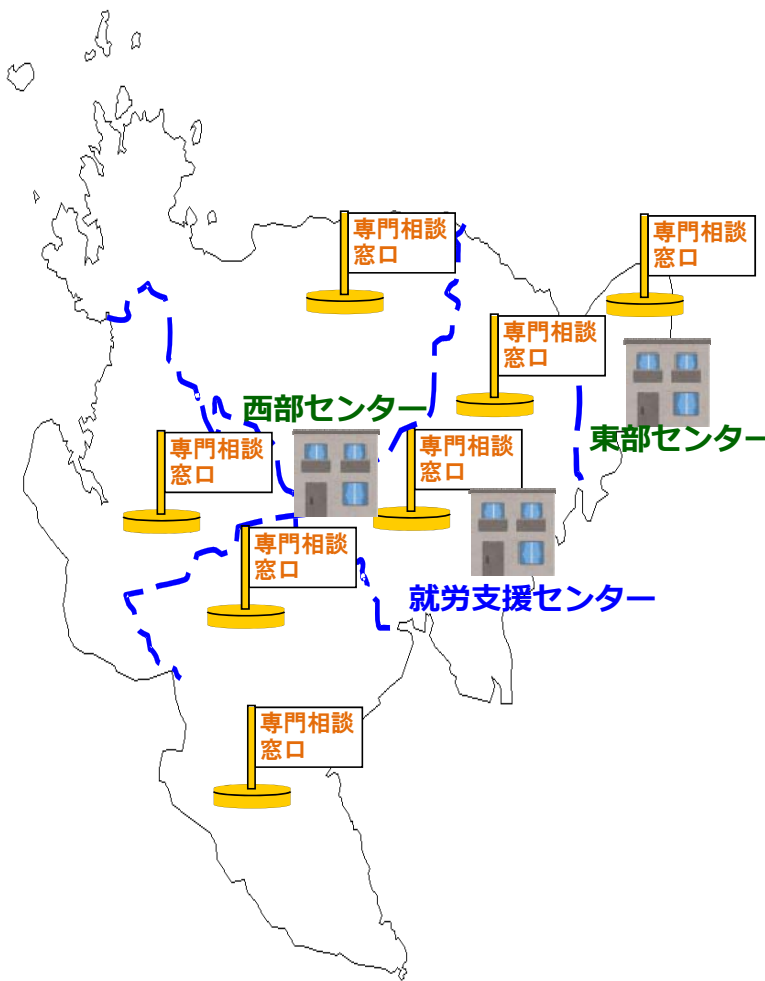
- ◎ 児童生徒の通学の支援
- ◎ 保護者等の送迎に係る負担軽減

# 特別支援教育推進事業（障害のある子どもの学校生活支援事業）

障害のある幼児児童生徒に対する適切な教育的支援を行うため、巡回相談員や専門家を幼稚園・保育所、小・中・高等学校、特別支援学校に派遣する。



# 発達障害者支援に関する取組



県内5保健福祉“圏域ごとに”発達障害者の支援体制を整備

個人のライフステージに応じた“一貫した”支援

県内どこに住んでいても、生涯にわたる“きめ細やかな”“切れ目のない”支援体制を実現



## 【本人への支援】

- 療育指導教室（わくわくキッズ）（未就学児への療育指導教室）
- フリースクールSAGA（小・中学生の不登校支援）
- プライドプログラム（高校生への自己認知支援）
- 大学生等インターンシップ・余暇支援（大学生等への就労支援）
- ※ 市町による早期発見・早期療育（自閉症児等スクリーニング、親カウンセリング）
- ※ 特別支援学校による巡回相談（県教育委員会）

## 【家族への支援】

- 家族教室
- ペアレントメンターによる茶話会

## 【支援者への支援】

- かかりつけ医発達障害対応力向上研修
- 発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業
- 保健師へのスクリーニング研修
- 保育士への療育指導研修

県内どこに住んでいても、生涯にわたる “きめ細やかな”  
“切れ目のない” 支援体制を実現

# (参考) 私立高等専修学校の特別支援教育の充実

## 新規 特別支援教育サポート事業

### 事業内容

## ○ 高等専修学校における 特別支援教育支援員の配置を支援

- ※1 高等専修学校  
中学校卒業者を対象とした課程において特色のある教育を実施
- ※2 特別支援教育支援員  
学習障害やADHD(注意欠陥多動性障害)等、発達障害のある生徒の学習を支援



# 本日議論いただきたいこと

## 【特別支援教育】

児童生徒が増加するなか、いかにして適切な指導  
と必要な支援を行き届かせるか